



ピーマン栽培の生育期における主な病害虫防除

ピーマン栽培では、黄化えそ病、モザイク病、うどんこ病、斑点病、灰色かび病、疫病などの病害、アザミウマ類、コナジラミ類、アブラムシ類、タバコガ類、ハダニ類、センチュウ類などの害虫が発生します。

特に、アザミウマ類は黄化えそ病を媒介し、アブラムシ類は各種モザイク病を媒介しますので、十分な注意が必要です。

病害虫発生予報11月号（病害虫防除所）によると、促成ピーマン栽培で斑点病の発生は平年並～やや多く、うどんこ病およびコナジラミ類の発生は平年並と予測されています。ピーマン栽培では生育が進むと枝葉が密生し、病害虫が多発生すると防除が困難になるので、少発生のうちに防除を徹底して下さい。

※ 天敵昆虫を導入している圃場では、薬剤の天敵への影響等を、必ずメーカーや関係機関から指導を受けてください。

1 アザミウマ類、コナジラミ類、ハダニ類、アブラムシ類 【防除のポイント】

- 1) ハウス内外の雑草(害虫類の飛来源、各種ウイルスの保毒源)を、常に除去しておきます。
- 2) ハウスの側窓や天窓など開口部には、防虫ネットを展張しておきます。さらに、ハウス内に黄色や青色の粘着シートを設置すると、微小害虫が誘殺されて生息密度を抑制し、また、防除時期の目安となります。
- 3) 薬剤散布は、整枝剪定の後など薬液が微小害虫の生息場所にかかりやすくなったときに、株全体へ丁寧に散布します。
- 4) 薬剤散布後は防除効果を確認し、抵抗性害虫を抑制するため、分類の異なる薬剤でローテーション防除します。

表1 ピーマンのアザミウマ類、コナジラミ類、ハダニ類、アブラムシ類の主な防除薬剤（令和4年11月16日現在）

対象害虫				薬剤名	希釈倍率	使用時期／使用回数	分類
アザミウマ類	コナジラミ類	ハダニ類	アブラムシ類				
○ _ミ	○		○	ベストガード粒剤	1~2g/株 植穴処理土壌混和	定植時／1回	4A
○	○	○	○	モベントフロアブル	2,000倍	収穫前日まで／3回以内	23
○	○	○		アグリメック	500~1,000倍	収穫前日まで／3回以内	6
○	○	○		グレーシア乳剤	2,000倍	収穫前日まで／2回以内	30
○ _ミ か、 _ミ		○		コテツフロアブル	2,000倍	収穫前日まで／2回以内	13
○				ディアナSC	2,500~5,000倍	収穫前日まで／2回以内	5
	○				2,500倍		
○	○		○	モスピラン顆粒水溶剤	4,000倍	収穫前日まで／2回以内	4A
	○	○		コロマイト乳剤	1,000倍	収穫前日まで／2回以内	6
	○		○	コルト顆粒水和剤	4,000倍	収穫前日まで／2回以内	9B
		○		カネマイトフロアブル	1,000倍	収穫前日まで／1回	20B
		○		マイトコーネフロアブル	1,000倍	収穫前日まで／1回	20D

注1) 対象害虫アザミウマ類の欄で、ミカンはミカンキイロアザミウマ、ミナミはミナミキイロアザミウマを略しました。

注2) 分類欄には、IRACコードを記載しました。同一分類（コード）は作用点が同じなので、連用は避けてください。

2 うどんこ病、斑点病 【防除のポイント】

- 1) 施設内の通風、採光を良好にするため適正な整枝剪定を行い、換気を適切に行って適度な温湿度の圃場環境を保ちます。
なお、梅雨期や秋の長雨など施設内が多湿や日照不足になる時期には、薬剤の予防散布に努めます。
- 2) 発病葉や被害落葉は伝染源になりますので、丁寧に圃場外に持ち出し、適切に処分します。
- 3) 薬剤散布後は防除効果を確認し、耐性菌の発生を抑制するため、分類の異なる薬剤でローテーション防除します。

表2 ピーマンうどんこ病、斑点病の主な防除薬剤（令和4年11月16日現在）

薬剤名	うどんこ病	斑点病	希釈倍率	使用時期／使用回数	分類
シグナムWDG	○	○	2,000倍	収穫前日まで／2回以内	7と11
ラリー水和剤	○	○	4,000~6,000倍	収穫前日まで／4回以内	3
カスミンボルドー	○	○	1,000倍	収穫前日まで／5回以内	24とM1
ダコニール1000	○	○	1,000倍	収穫前日まで／3回以内	M5
パンチョTF顆粒水和剤	○		2,000倍	収穫前日まで／2回以内	3とU6
パレード20フロアブル	○		2,000~4,000倍	収穫前日まで／3回以内	7
モレスタン水和剤	○		2,000~3,000倍	収穫前日まで／3回以内	M10

注1) 分類欄には、FRACコードを記載しました（コードが2つは混合剤）。同一分類（コード）は作用点が同じなので、連用は避けてください。

※ 表2の他に、うどんこ病防除には硫黄粒剤のくん煙処理があり、この場合は専用の電気加熱式くん煙器を利用してください。

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農NEWSはJA全農いばらきホームページでもご覧になれます。